

理研イブニングセミナー

参加無料

理研の研究成果と研究活動を産業界に伝え、連携に結びつけることを目的として、企業の方を対象としたイブニングセミナーを開催します。

時間 **17:30 ~ 18:30**

(発表 30 分、質疑応答 30 分)

※講演後に名刺交換などの交流の時間を設けます。

会場

新東京連絡事務所

東京都中央区日本橋 1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング 15 階
(COREDO 日本橋)

<http://www.riken.jp/access/tokyo-map/>

定員

各回 **40** 名 **先着順** (1 企業 2 名様まで)

※ご希望の回数にお申込頂けます。

参加対象は企業の方限定とさせていただきます。
お申込は事前登録制とさせていただきます。

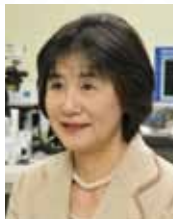


2017年2月8日(水)

第19回 DNAを材料にした世界最小のコイル状人工バネの開発と応用

発表者：岩城 光宏 (生命システム研究センター 細胞動態計測コア 細胞動態計測研究グループ)

本発明では、DNAを材料として、ナノスケールの生体分子に力を加えるためのコイル状人工バネ(ナノスプリング)の作成方法を提案し、実際に、バネとして機能することを実証しました。このナノデバイスは、分子形状や動きを観るための様々な顕微鏡と併用することが可能です。また、生体分子から無機材料まで幅広く対象にすることができます。



2017年2月22日(水)

第20回 全世界に蔓延する牛白血病ウイルス

—理研で開発している診断技術・治療薬—

発表者：間 陽子 (分子ウイルス学特別研究ユニット)

牛白血病ウイルス(BLV)感染は全世界で急速に拡大していますが、有効な予防法・治療法はなく、肉牛や乳牛などの食料供給・安全性を脅かしています。そこで、世界初の牛白血病ワクチン開発や新しい診断技術の確立についての理研での研究をご紹介します。



2017年3月8日(水)

第21回 バイオマス資源を原料とした高性能・高機能プラスチックの創製に向けて

発表者：阿部 英喜 (環境資源科学研究センター バイオマス工学研究部門 バイオプラスチック研究チーム)

再生可能なバイオマス由来化合物群を原料として、主に化学的な手法を駆使し、新規ポリマー素材の開発を進めています。有機脂肪酸からの高耐熱性新規ポリマーの開発、バイオマス由来アクリル樹脂の開発、含芳香族バイオマス化合物からの耐熱性新規ポリマーの開発に成功しています。本セミナーでは、各種新規樹脂素材の開発における設計戦略ならびに樹脂素材特性を紹介します。



2017年3月22日(水)

第22回 エネルギーデバイスや触媒の界面評価と制御

—分子間エネルギー移動の実空間計測に成功—

発表者：金 有洙 (Kim 表面界面科学研究室)

走査トンネル顕微鏡を用いた単分子発光・吸収分光法の開発に成功しました。このような単分子分光法を用いて様々な有機デバイス・触媒における界面のナノスケール分析を行います。



2017年4月12日(水)

第23回 機能性色素の分子デザイン技術

—フタロシアニン系近赤外色素・フルオラン縮合型ロイコ色素—

発表者：村中 厚哉 (内山元素化学研究室)

フタロシアニン色素やロイコ色素は、様々な用途で利用されている現在の私たちの生活に欠かせない機能性有機色素です。私たちは、1) 従来のフタロシアニン色素に比べてより長波長領域に吸収を持つ新しい分子、2) 従来のロイコ色素にはない無色から2色に変化する新しい分子、を開発しました。本セミナーでは分子設計指針や合成した色素の性質について紹介します。

【お問合せ先】

理化学研究所 産業連携本部 連携推進部 技術移転企画課

TEL: 048-462-5475 E-mail: evening-seminar@riken.jp

申込締切り

各回(各開催日)1週間前

※参加ご希望の方は会社名、氏名、電話番号、希望する回(複数可)を記載の上、

件名を『理研イブニングセミナー参加申込』とし evening-seminar@riken.jp 宛にお申し込み下さい。